

副年が地をに 勉強の時日 く雨などは
方会活し激方選移午強が財阿か「縦残にしの那私
針長動た勵協びり後しあ保波ラブ会念たの声霸た
のの家。にか議議四まり謹根「ラはでた縦が市ち
主伝表議から事長時し「審直先ザ一しら会多内の
な達彰事けはにに一た那議孝すで二たれでかで定
内がでにつ西移東五「霸会氏ねい月「出しつや期
容あ東入け村り恩分の委へッゴー席たたつ縦
はり崎るて茂ま納か郷員那トで三者。のて会
次ま原前下三し盛ら士「霸ワ午日がしてみを
のし久にさ郎た正縦史の市「後金少か一た本
とた子永い氏「氏会を講文ク三曜

て たたたた つへ入者標 ○者○ りへま営お
「今「が「が週い二促のに本○二%会組一すしり
週後余事「二て」進説し年%八に員み
一はり務実日事に明て度で名設拡組
日会機局現制務努会いもし中定大組織
員能次でを局め等また二し昨強化
毎の週増水加曜にまもま標制い参%名しは
日伴せおせにの強化・加退加入標で退を
しましでましでましに加定目一職七

別な区で つへすが すらて つへ行すしと
幹こ予連し昨い七「あ本「ム「昨い六動「てな本た致等と
事の算絡た年で「総措会度を会置を本は
選でを設年対び連しけ度応ま絡ま活はで
す会す動八きま長に重ま以へ上特
必山せん要地ん

第十回 定期始△云で活動九方針が決まる

年頭の一言

会長 稲福 政吉

こあしめ意棄 そるなどす
の規るに莊 又れのいい一 お二
丑制とさ 子 章、をでとわ日 そ月
年とれ鼻は 年とれ牛丑実真分れ一 すも終わ
を云無てに ぬの年践実かて回 ます
乗う用悠綱章 一子でしでらい感
り鼻の々を牛 ですあなたま動
越繩大遊は えに用んけい がで
えに用んけい て束でらか 年頭のあ
い縛をいれに い縛をいれに いさつと申し
きさ説るも まされい結とい すと、その
まされい結とい まされい結とい すと、その
う野まはく まされい結とい すと、その
放す削 まされい結とい すと、その
し 口野の 牛赤であるとが、本當
で放た う野まはく まされい結とい すと、その
牛赤であるとが、本當
今し体験する はいしる

支部協力より

発行所

全電通退職者の会

沖縄県支部協議会

沖縄県那霸市楚辺
1-14-1
Tel 0988-33-4898

責任者

稻福政吉

第九号

副会長 稲福政吉
幹事 東崎原久子
会計監査 善重

幹事 建川昭男
黒島善市
会計監査 武広

幹事 翁長善重
黒島善市
会計監査 武広

幹事 東崎原久子
黒島善市
会計監査 武広

新規会員の頃より

全電通退職者の会沖縄県支部協議会第10回定期総会

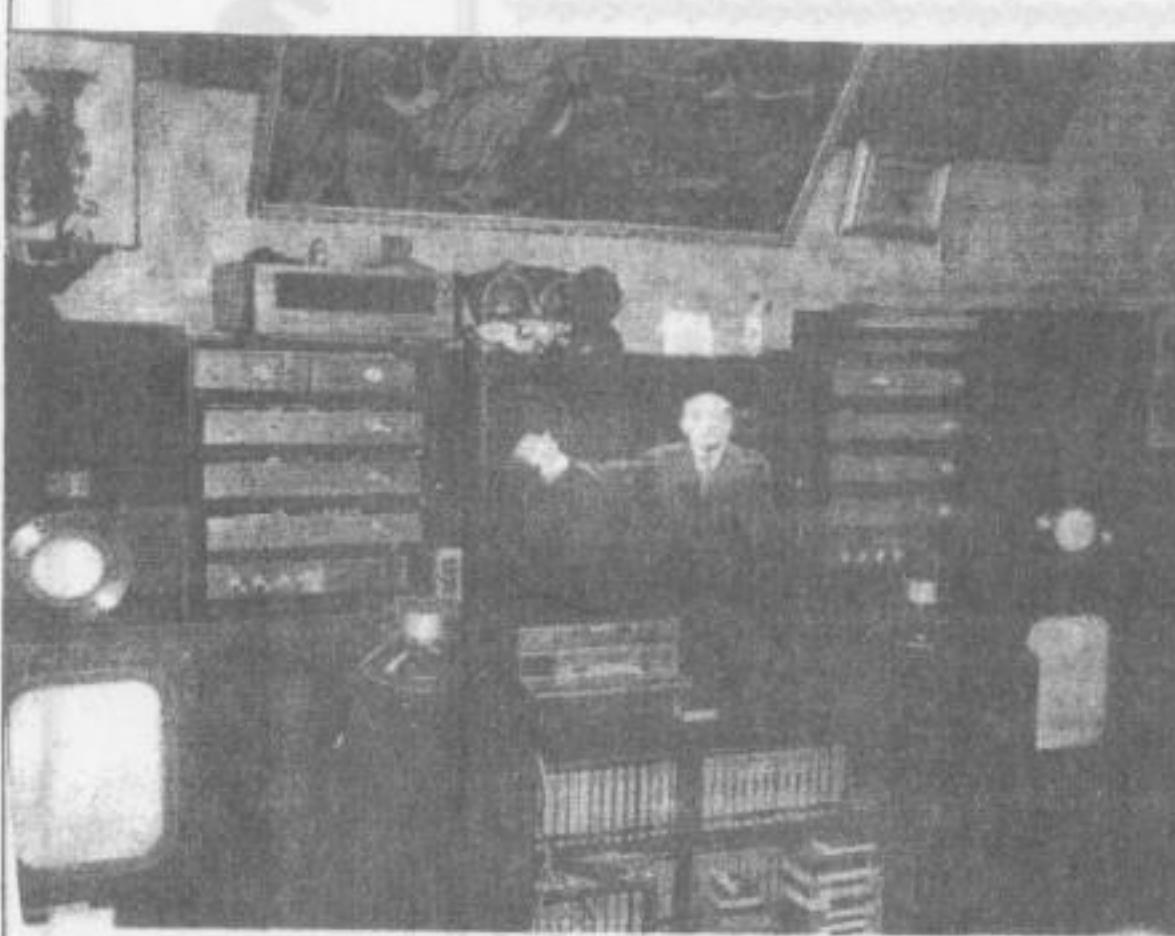
共追ごのまめ勞まが職ときとり労方 るじて現 は入不と さ済入員
済々協為すて済すも者私まを良済でそ形ン全役別など可全残れ しの現
もに力に「取へたの達す前いのもことが労のにいな能電念て任た方 在
検生をも今りも県ら会の「提サ団」でな全済方支でつに通ない意全々
討命願会後組「支さ」加こに「体退」、「電よ々障してなをこる」労が皆
さ・い員「んぞ部れに入れ検ビ登職こて通りのはよいり介と事を済、さ
れ家ま皆会でのもるも数が討ス錄者のおに「加なうる」、「しにと繼の現
る屋す様のい線ここ種應実ををの度りはバ入いかの個て「存続マ役の
と・の財くでれと々じ現行受し会県ま還ツ数の
の財な一源と話かとのてしきつて「支す元クにで
由等お層確思をらな特・まてる「も部「さマ準す
「の保い詰全り典退すいこよ全の れ」じが

全労災火への
団体登録
録

吉川 錦織 喜久

おはる新聞 日本の新聞紙 司令部主張
昇進のJCO報道 その他の主張
本部の主張

1997年2月24日 (月)



つ！あオ十までウへて、謂し遊と辞で声きす
ビ最てムリ！五す先あト静いイ趣さてびをめあはま。退
ジ近い、「デ年とすりド」まん味ていの間てり、つ友職
ユはま十自イぐ、「オマアはすドは私るこういま今て人し
アアす二宅オラオ！す」オ。アーノのとてるす、「交」て
ルV。疊に協い「デ」
・(オ像)がデ
加イ
わオ

ぐり会でディ
ラスの「イオ
いニ会現オか
室ン員在歴ら
をグで日は申
持ルも本三し

「ア遊でをいの「何わ知二
動デ「のウビシホるで会しす人年
イニトでよ互の「社て言に目
はオン種ドすういで仕はい葉会に
素でド類アが「には事とるのうな
潜ア持」、確なのうの第とり
リアーっと所 認いこに」一、ま

私の趣味

稻
福
政
吉

い流でCノの本での型面
カ使ぞ周ム在ジま近た可
ま行音D口でですトで型ス！用れ波をはオすいり聽オ
す歌楽、グすいのウ円のビをしの帯探マカ。音す周！に
。かはビ主。ずでイ形四！駆各帶域用ルラ機をる波デ凝
次らクデで音れバ！、「角力動帶域をしチス器出こをイつ
号なラオシのモワタ高形！」す域ご三てアタもすとと
にんツ、「PソA」で音、はる専と分いシ、当工でいとい
続でシカ、「I&A」は中低方用に割まブト初夫、たはます。
きもッセレスEン。リ音音法のアシス。しはを生リ音
ま聴クッコは社スマボも用でスン、「シテFしの巻つ
すい主ト！、のはルン平はスピブ可ス、MTで音音ま
て等ドアも六チ型面平。」をれ聴テ現ラいにしり

かアワのだ会であるに しと
。ベン連。であの一ゴて心「
日率成しそるが度ルく地木
」4でかれ。「はフレよ」
ジ割あもを小木とアるいル
でりる5や生！、「言ひイ
はと「戦はる請に葉びん
あい木して十いとだきワ
りういての二ニ顕つろをン」
ま驚ル2け月ワってうも
せ異イ度たのンて一「たな
ん的ン目の例」い生 らん

しドを がと抱の「ダ」4で調
てゴ受あ喜、え美の「」をカ
いルけれんみて味文、「イ2ツ5
るフて以だ不意米句トン0ブ番
今大北来、足気「な」でイでイ
日会に家喜の撮秋し夕は上ンナ
こが南人んわ々田のル2がすイ
のあにのだがとこ優で3りるシ
頃れグ叱、家帰ま勝5の4とショ
ではラ咤、宅ち、「ア1アバショ
あ參ウ激 家す」賞ンアン！
る戦ン励 入るを品ダンダ2ト

まぐれも続けば実力の証

95退職者 山入端立美



もを九
の作募全寄お役号
に品集電稿組員の
限はし通の取員集
り集・下合發
で送ホそ
つ取とツよ花
て、忙トぐ冷
組し、昨え
みいて今も、
にまかいで、
撻しがるすい
のでもな会春を
ほど願いま
す。隨す
切、詩、和歌、
中旬で短歌、
県支部まで未
発表の原稿

編集後記

【】

い皆を一
まさ祈日皆受日向状病月円と入局回昨
ましん念もさけニかに院二のこ院長定年
た大し早んて時つて九月松期一
。変たくのい間てい奥日財、「」嶺総二月
あい退さる程いて様会がおの嗣会の一
りと院らよ度るはへ長集蔵見幸の一
が思さなうのよ、「届・ま様舞氏総三日
といれるでりう少け事りで金、意日
うまる激すハでしま務ま二を嶺での
ごすこ勵。ビス回し局し万募井前第一
ござ。とで、リ復た長た五つ病事一

ます謹 故松田
享(中部実
享年五分会出
年九十歳)
でお悔やみ申
申し上げ

計報

故赤嶺
那霸
分會
六十
七歲
(中部
分會)

宮良 寿
廉昌 (中部
分會)

益々の
おめでとうござ
います。

おめでとうござ
います。

おめでとうござ
います。

おめでとうござ
います。

善意の払ふ

慶事

津波元盛さん
照屋晴夫さん
崎山宗光さん

新入会員紹介

ての
友仲昨
情問年、
のが輪
増えま
しよ
う。手を
携えて
左記に
紹介
いたし
ます。めち